# ほいく誌ファン

2024年1月発行　No.66


P.1　第１回交流会について
P.2　第２回交流会について
P.3　地域目標・第2回ほいく誌普及拡大会議のお知らせ
P.4　ほいく誌コラム集


**〇ほいく誌ファンとは**

県内各地で行われている『日本の学童ほいく』の普及・拡大活動を紹介し、みなさんの地域での活動に活かしてもらうための情報紙です。
※文中の「ほいく誌」は、月刊誌『日本の学童ほいく』のことをあらわしています。

ほいく誌の購読料391円/冊（定価）は、約2/3が全国学童保育連絡協議会の制作費や活動費に、約1/3が還元金として愛知学童保育連絡協議会の収入の一部となり活動費に充てられ、活動を支えています。

## 第１回交流会（10月1日（日）10～12時）　交流テーマ「あってよかった学童保育」

**各地域から23名が集まり、3つのグループに分かれて交流しました。**

### グループ①のまとめ

・「本当にそうだよね」と思う話が聞けた。
・遊び一つをとっても、学童でしかできないこともある。
・指導員と保護者がどうかかわっていくかも本当に大切で、一方通行にならないように学童保育を作っていくのが大切。
・学童でしかできないことが多くあり、「子どもが生きる力をつけられた」と言われた参加者の言葉が印象的でした。

### グループ②のまとめ

・「安心して預けられて仕事に行ける」のは学童のおかげ。
・指導員さんに継続的な成長をみてもらえる。
・学年を超えた話し合い、子どもと大人、他者と話せる大切さを感じる。
・学童は家庭ではできない子の潜在能力をみつけてもらえる場所だと交流を通じて感じました。

### グループ③のまとめ

・OBの熱い思いや現役の現状の思いを聞いて、学童保育のよさを次の世代につなげていけたらと思いました。
・ほいく誌には学童の現状が詰まっているので、説明会で配布するのもよいと思う。
・OB・現役の話を聞いているだけでも、涙ぐみそうになり、交流できてよかったと思いました。

**この交流会では沖縄県の方も参加されました。他の地域とのお話をきっかけに、学童保育への理解も深めることができ、交流をすることの大切さ・楽しさを感じていただけたかなと感じる交流会となりました。**

### 参加者からの感想

〇グループに分かれてから、現役・OBでいろんな話が聞けたのが非常に楽しかったです。

〇名古屋の方は学童と保護者の関わりが深くて凄いと改めて思いました。うちのクラブは保護者との関わりがあまりないので保育園の延長線で学童期の子どもを預かってくれる場所と捉えてて学童保育にそれ程関心がない保護者がいるのも正直なところなのです。ほいく誌を活用して学童保育に関心を持ってもらえるようにしていけれたらと思います。

〇他の学童のことや学童に入ってよかったねってことを改めて実感できて、とてもよかったと思います。

当日参加者の集合写真

# 第2回交流会（12月9日(土) 19時30分～21時）

## 交流テーマ「保護者会・父母会を盛り上げて、楽しく元気な学童保育に！」

**第2回は土曜夜の開催でしたが、岩手県の方も参加され、29名の指導員・父母の方と交流しました。**

### グループAのまとめ

・父母会をどうやってやっているか。
・積極的に関わっている人も多い印象。
・単なる会議から、自分の子どもがどうやって過ごしているかを知れる機会にすれば父母会も変わっていくのではないか。
・Webに変わってきているので、そのような試みがあれば父母会の取り組みが変わってくるのではないかと話し合いました。

### グループBのまとめ

・学童の移転や建替えについて、役員だけ重すぎる議題ではあるので、全員で取り組んでいこうという流れになっている。
・学童保育の指定管理者が企業になった。父母が色々と変わってしまう可能性があることに不安を感じているが、どこでも同じ保育ができるように、父母会・市連協が維持できるように、これからも頑張っていきたい。
・地域は横のつながりが強く、役員に手をあげたり、快く引き受けてくれる。小学生みたいに班活動に参加してもらっている。課題が多くありつつも、みなさんですすめてもらっている。

### グループCのまとめ

・コロナが落ち着きイベントが復活してきて、保護者が手伝う機会が増えてきた。
・交流で信頼関係が生まれたり、イベントに参加してもらえたりする機会があるのはうれしい。
・ＯＢが参加してくれるのは、いいなと思っている。
・指導員や役員として、保護者から楽しいよという言葉が聞けるのはうれしく思う。

参加者の集合写真

### 参加者からの感想

○テーマにそった形で、それぞれのグループでも話し合いに切り口が違うので共有がとても良かった。

○学童を取り巻く環境について、常に変化していると感じました。

○学童に子供を預けているということは高負荷なご家庭が多いはずで、学童の存続や発展を望むのであれば、そういった父母への負担軽減なども議題にあげるべきだと思います。

○実際に使えそうなアイディアが得られた。OBの協力を得るというアイディアは自学童を盛り上げるために有効にできそうに思う。

○次期役員決めに困っているという相談にものっていただけました。

○それぞれの学童で課題はありつつも、父母会も指導員も活発に取り組んで頑張っているんだなと知ることが出来ました。

## 2023年度の地域目標

| | | | |
|---|---|---|---|
| 千種区 | 引き続き、合同職員会議の中で読み合わせを行う。区連協内でも読み合わせを行い、増刷を目指す。 | 守山区 | 区連協・父母会で普及アピールをしていき、各学童一冊増を目指す。 |
| 東区 | 2022年度目標「美味しそうで食べたいなと思ったレシピを実際に作ってみる」を継続予定。 | 緑区 | 区連協会議で定期的に購読の必要性を各学童に呼びかけていく。 |
| 北区 | 引き続き、区連協会議内で興味深い題材を取り上げ、少しでも各学童の父母に広く認知してもらうようにしていきたい。 | 天白区 | 区連協の担当者会で議論を深め、各学童の父母に周知できる機会を創出する。 |
| 中村区 | ・各学童の父母会で読み合わせを続けていく。<br>・入所説明会時に見本誌をおいて自由に見てもらえるようにしていく。<br>・子どもたちともほいく誌をつかって話をしていったりする。 | 豊橋市 | 会議でのPRと読み合わせを実施し、購読と投稿増につなげる。 |
| 昭和区 | 増刷を目標とし、区連協、各学童の父母会で普及をPRする。 | 岡崎市 | 150冊をキープ。 |
| | 指導員会での読み合わせを継続。 | 春日井市 | 父母会でアピールしていく。 |
| 瑞穂区 | ほいく誌について知ってもらうために、担当者以外にも普及拡大会議や交流会への参加呼び掛け、参加に繋げる。 | 豊川市 | 運営委員会、指導員会では、引き続き読み合わせを行い、各クラブでも、読み合わせを行いたい。子どもたちのイラストをこどもランドに投稿してみよう会を開催してみる。ほいく誌に豊川市で掲載されたら、みんなで情報展開する。 |
| 熱田区 | 全４学童それぞれで子どもたちの絵や文をほいく誌に送り、ほいく誌の作成に携わることによって認知度をUPさせ、購読を呼びかけるようにする。 | 津島市 | 手に取りやすい環境を作る。 |
| 中川区 | ２０２３年度も継続して読み合わせを行っていく。指導員の職員会議でも読み合わせの時間をとって、共有をはかっていく。 | 安城市 | 今年度も、ほいく誌のアピールは引き続き難しい状況で苦慮しています。 |
| | 固定の担当者は厳しいので、昨年度と同様に輪番で参加をしていく。 | 大府市 | 昨年に引き続き世帯全員購読、保護者会で取り上げる。 |
| 南区 | 各学童プラス１冊を目標とします。 | | こちらも引き続き外部にも、外部へのイベント時に学童の役割をほいく誌も用いて発信。 |

**○第2回ほいく誌普及拡大会議は**

**2月18日(日)10時～12時です。**

2023年度の目標に対しての結果や総括、
次年度に向けて今後の課題について議論します。
※参加者の事前の申込みをお願いします。
https://forms.gle/cpPw4Bxd635b5VnY6

**【お問い合わせはこちらへ】**

**ほいく誌部会**（愛知学童保育連絡協議会・名古屋市学童保育連絡協議会）
〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9-7-308
TEL：052-872-1972
FAX：052-308-3324
E-Mail：hoikushi@gakudou.biz

県連協HP

# ◇ほいく誌コラム集◇

## コラムを読んで、「日本の学童ほいく」誌をより身近に！

### 2023年8月号P16～21
### 「あたたかく・やわらかく・ゆったりと」歴史をつないでいくことを願って

私の地域でも、4年ぶりに地域夏祭りの夜店が復活しました。コロナ前の夏祭りを知る保護者OB・OGにも声を掛けさせてもらい、久々に会った仲間とのお酒を飲みながらの話も盛り上がり、現役世代よりも保護者OBの方が積極的に焼きそばを焼いていたかもしれません（笑）子どもだけじゃなく、保護者も一緒に行事を楽しむのが学童なんだ！という姿を見て、現役世代に少しでも学童って楽しいねと感じて頂けていたら…と願いつつ。

学童保育では「行事」が人と人をつなげる、と感じています。
それまであまり一緒に遊ばなかった子たちが行事で同じ班になって急にとても仲良くなったり、挨拶くらいしか交わさなかった保護者が一緒に行事の成功に向けて取り組むなかで気づいたら飲み仲間になっていたり…そういった、行事を通じて学童仲間が増えていく瞬間を、保護者として6年間学童保育にお世話になっていた間に幾度となく見てきました。

コロナが5類に移行し、これまで中止だった色々な行事が復活している地域がほとんどだと思います。行事の開催は大人にとって大変なことも多いですが、学童仲間とともに楽しく歴史をつないでいってほしいな…とこの記事を読んで思いました。

（愛知県連協役員　進）

### 2023年9月号P46～P51
### 最終回　保護者にも必要な「第三の場」

日福大名誉教授　近藤先生のところですが、“ステキになれる学童保育”が詰まっている記事です。子どもたちも保護者もステキな思い出になる、人間関係が面白い、つながって共有することで楽しく学童保育での生活を過ごすことができる様子が多数、書かれています。
ぜひ、そんな魅力のある学童保育について今一度、日本の学童ほいく誌を読んで、振り返りながら楽しむのもアリなのではないでしょうか。皆さんは、ステキな学童保育ですか。

（愛知県連協役員　鈴木）

### 2023年8月号巻頭グラビア、P8
### 「学童保育の紹介」

日本の学童ほいく2023年8月号にクラブ施設のグラビアに掲載されました。せっかくの掲載なので、保護者会で紹介をし、クラブの主任指導員に読んでもらう読み合わせをしました。コロナとインフルエンザの流行のため、オンラインでの保護者会に切り替えたため、保護者のみなさんの表情を現地で見ることができなかったのが残念ですが、一人でも多くほいく誌を開いてもらうきっかけになったらいいなと思いました。

私たちのクラブは2回目のクラブの分割。賃貸補助を受けクラブの1階と2階をお借りしています。クラブは某飲料販売店があった施設で大家さんも、その社長さんです。つばめくらぶは、某飲料会社の〇〇九郎もかけて、学童を巣立ってもまた中学生になって、気軽に顔を出せるそんなクラブになるといいね、つばめをイメージしてクラブの名前がつきました。クラブをありがたく使わせていただかせていただき、せっかくなので大家さんに子どもたちの写真と、ほいく誌をプレゼントすることにしました。某飲料会社さんでは喜んでいただき、InstagramやFacebookにも掲載していただき、ほいく誌の宣伝もしていただきました。ほいく誌を通して、人と人とがつながる。なんだかステキだなと思ったのでした。

（愛知県連協役員　廣川）

### 2023年10月号P13～17
### 「親子の安心を育む 指導員の関わりに支えられて」

この記事を読んで、指導員の言動が保護者の方にどのように映っているのか？を改めて知る機会になりました。
・お迎えに来る保護者の方に対して、「おかえりなさーいっ！」と元気いっぱいの声は、それだけで安心につながること
・ほっこりエピソードや学童保育でどのような取り組みをしているのかを知ることができるのは、とても安心できること、心の支えの一つになること
・おたよりや個人懇談、そして日ごろの伝えあいは、家では見ることのできない子どもの様子を知る機会になって、とても大切な時間なこと
・子どもの様子とともに、指導員さんの思ったことや考えを教えてくれたことで「保育の報告」のみならず「アドバイス」になっていること
など、日ごろ行っている小さなひとつ一つが、保護者の方の力になっていることを改めて知ることで、さらに頑張っていこう！という気持ちになりました。みなさん、対話を大切に！

（愛知県連協役員　仁城）